

## 白梅学園高等学校 第57回 入学式 式辞

今年一月に始まったコロナウィルス感染拡大は、ようやく第一次の鎮静化傾向を見せています。しかしこの容易ならぬ相手との油断大敵の共生共存体制は今後も維持されていきます。

この大変な時に、本日、二か月遅れとなりましたが、白梅学園高等学校 第57回入学式を挙行できることを、教職員一同、とてもうれしく思います。

ただいま入学を許可した第57期生 250名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ご来賓、保護者の皆様にご列席をいただかず、HR 教室等で放送と映像を使った異例の形での入学式となりましたが、教職員一同、心から皆さんのご入学をお祝いします。

昭和39年、小平の地に開校した白梅学園高等学校は、白梅学園建学の理念「人間を愛し、人間の価値を最高度に実現するヒューマニズムの精神」のもと、科学性・社会性・芸術性を柱に、個人の価値を高め、広く社会の幸福に貢献する社会人を育成することを目指して、昭和、平成、令和の三つの時代を歩み、今年、創立57年目を迎えました。

グローバル化が進展する21世紀も20年目に入りました。予想もしなかった今回のコロナウィルスの全世界感染拡大も、このグローバル化が生み出したものと考えられます。そしてこれからも、今まで予想もしなかったことが起き、それに対応していかなければならないかも知れません。

しかし、このような時代が続いていくからこそ、研ぎ澄まされた地球的感覚、自国語・外国語の双方を駆使できるコミュニケーション力、持続力、課題解決力を発揮して、国内外を問わず様々な課題に取り組むことができる優秀なグローバル市民が益々求められています。

第57期生の皆さん、皆さんは、自分の意思で女子校である本校に入学しました。日本社会で皆さんが力を発揮する「20年後」に向けて、これから始まる白梅での3年間の生活で、生涯学び続ける基盤を作り上げ、自分を豊かに成長させるための「皆さん自身の学び」を手に入れてください。「地道な積み重ね」と「たゆみない進歩」、これが白梅学園の精神です。悔いや迷いを捨て去り、勇気を出して新しい航海に漕ぎ出しましょう。

ウィルス感染の歴史が示しているとおり、コロナウィルス感染の再拡大の可能性は十分にあります。ワクチンができて投与できるようになるまで2～3年間かかるとも言われています。

不自由と不安をかかえての学校生活が続きますが、私たち教職員一同、皆さんが一日も早くその不安を脱することができるよう、全力でサポートしていきます。

ですから、焦ることなく、落ち着いて学校と自宅での学習を開始してください。自分をダイナミックに成長させるためには、失敗を恐れず、粘り強く挑戦し続ける以外にありません。

本日から始まる白梅学園高等学校での3年間の生活を通じて、皆さんが本物を「探」し、本物を「見」つけ、そして、本物に「学」ぶ、ことに常に取り組んでくれるよう期待しています。

終わりに、冒頭で触れたとおり、今後、私たちは覚悟して、コロナウィルスと「油断大敵の共生共存体制」を続けなければなりません。細心の注意を払いながら、堅実で健康に毎日の学校生活を送り、皆で力を合わせて、この難局を乗り切っていきましょう。

令和2年6月3日

白梅学園高等学校長 青 山 彰